

明神山の歴史的眺望を活かす新たな文化財類型について

【担当省庁】文部科学省、文化庁

王寺町における取組

(現状・課題)

・明神山(みょうじんやま)は標高273.6mの低山ながら360度の眺望が得られるビュースポットで、気軽にハイキングで訪れることができる。

・奈良盆地が一望できることに加え、生駒・金剛山地、大峯山脈、比叡山、比良山地、大阪平野、大阪湾、淡路島、明石海峡が見られる。

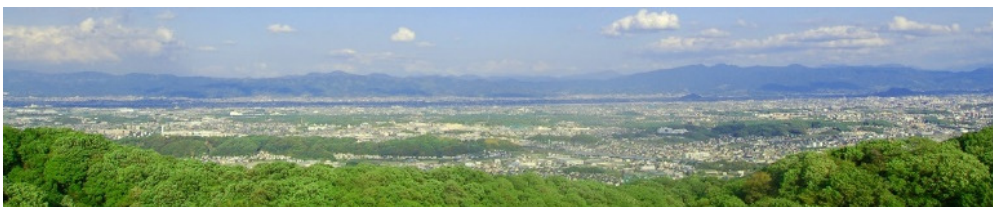
・景色が美しいのはもちろん、その眺望から奈良盆地が山々で守られ、大和川が唯一の出入口となって、難波の津(港)と結んでいることが理解でき、奈良県(大和)の地を中心に政治の中枢が起こり、そして動いたことが実感できる**歴史的眺望**である。

・明神山からは**5つの世界遺産**が眺望できる。

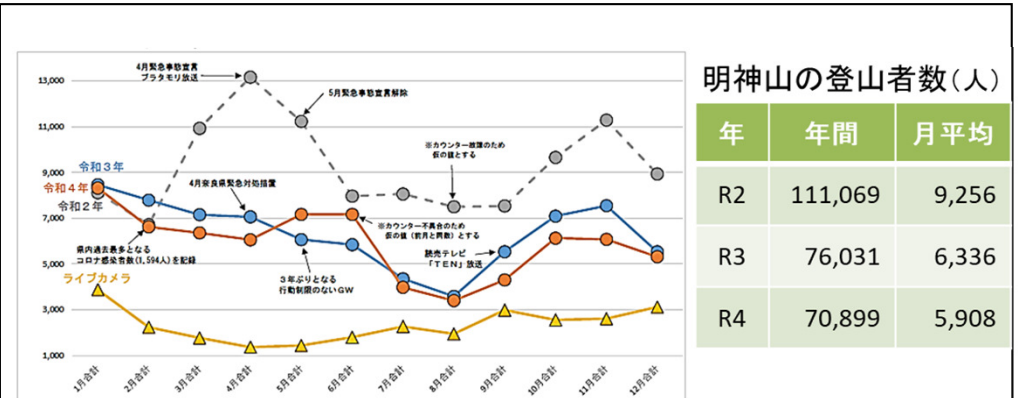
- ①法隆寺地域の仏教建造物 ②古都京都の文化財 ③古都奈良の文化財④紀伊山地の霊場と参詣道 ⑤百舌鳥・古市古墳群

・こうした稀有な**歴史的眺望スポット**に多くの人に訪れていただき、我が国の成り立ちを実感していただくため、景観解説パネル、栈敷デッキ、世界遺産ビューパンフレット等、ハード・ソフト面を充実させ、令和3年度には「王寺町文化財保存活用地域計画」に基づき、文化庁補助によって、明神山歴史的眺望が体感できる**VRゴーグルコンテンツ**を作成した。

これらの取組により、コロナ禍であるにもかかわらず、明神山の登山者数は現状を維持し、年間7~11万人もの人が訪れている。



明神山から奈良盆地方面を望む



【課題】

・より多くの方が**明神山の歴史的眺望**を体感することにより、我が国の歴史的な成り立ちについて理解を深めてもらいたい。

・そのため文化財指定を受けて、明神山の価値を高めたいが、現状の**文化財6類型**(右記参照)の定義に当てはまり難い。

・最も近いものに記念物の名勝地(庭園、橋梁、峡谷、海浜、山岳等、我が国にとって芸術上または鑑賞上価値の高いもの)があり、そのなかに**展望地点**が分類されている。

【関係市町村】 王寺町

① 有形文化財

美術工芸品、建造物

② 無形文化財

演劇、音楽、工芸技術

③ 民俗文化財

民俗資料、風俗習慣

④ 記念物

遺跡、**名勝地**、動植物

⑤ 文化的景観

棚田、里山、用水路

⑥ 伝統的建造物群

宿場町、城下町

新 歴史的眺望

国にお願いすること

・明神山からの歴史的眺望は、奈良盆地、生駒・金剛山地、大和川、大阪湾、明石海峡等の地勢に加えて、実際に百舌鳥・古市古墳群や飛鳥・藤原の宮都、法隆寺等が遠望することに意義がある。

・我が国の歴史的な推移が理解できる**歴史的眺望としての新たな文化財の類型**を追加することで、国民の貴重な財産としての文化財の保存・活用が進められるようにしたい。

【担当部署】 王寺町地域交流課